学校番号	４０７

令和８年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　地学基礎　（第一学習社）						
副教材等	ネオパルノート　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

宇宙はどのように誕生したのか、私たちの住む地球は宇宙のどこにあるのか、地球の内部はどのようになっているのか、このような疑問に向き合ってきた学問が地学です。地学を学ぶことで地球の性質を深く追求でき、天災に備える知識や天災の起こる原理を科学的に理解してもらいたいと思っています。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
現在の地球の活動について観察，実験などを通して探究し，地球の構造や，プレートの運動と地殻変動や地震・火山などの地球の活動との関連や地球の大気と海洋の働きを理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
日常生活や社会との関連を図りながら，地球や地球を取り巻く環境への関心を高め，自ら課題を設定し，見通しをもって観察，実験などを行うことができる。
【学びに向かう力、人間性等】
科学的に探究する資質・能力を育てるとともに，地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	観察，実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 地学的な事物・現象に関する観察，実験の技能を習得するとともに，それらを科学的に探究する方法を身に付けている。	地学的な事物・現象の中に問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行うとともに，事象を実証的，論理的に考えたり，分析的・総合的に考察したりして，問題を解決し，事実にもとづいて科学的に判断したことを，言語活動を通じて表現する。	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究するとともに，科学的態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地球のすがた	地球の層構造を学習し，表面と内部の性質の違いを理解する。また、プレートの分布と運動について学習する。	a: 地球の層構造(地殻・マントル・外核・内核)と，各層の特徴を理解し，知識を身に付けている。プレートの分布や種類，プレートの動き，大陸移動説について理解し，知識を身につけている b: 地球を構成する元素を示すグラフを判読し，地球内部の構成物質の違いについて考察することができる。プレートの境界で形成される大地形について，プレートの運動との関連を考察することができる。 c: 大地形の形成とプレートテクトニクスについて関心をもち，地殻変動とプレートの運動との関係について意欲的に学習しようとしている。	・小テスト ・定期考査	・発問評価 ・ノート提出 ・定期考査	・授業態度
	地球の活動	地震の発生と分布の特徴について学習する。また、火山噴出物と火山の噴火について学習する。	a: 地震の発生と分布の特徴について理解し，知識を身に付けている。火山の形成過程について，地下のプレートと関連させて理解し，知識を身に付けている。 b: 世界の地震分布に関する資料を判読し，地震の分布の特徴を，地下のプレートと関連させて見いだすことができる。マグマの性質と噴火の様式や火山の形を示す表から，実際の火山について，その形とマグマの性質の関連を考察することができる。 c: 地震の発生と分布の特徴に関心をもち，地震のおこるしくみについてプレートの運動と関連させて，意欲的に探究しようとしている。火山噴出物と火山の噴火に関心をもち，火山活動について意欲的に学習しようとしている。	・小テスト ・定期考査	・発問評価 ・ノート提出 ・定期考査	・授業態度

2学期	大気と海洋	大気のエネルギー収支を理解し，大気の温室効果について考察する。また、地球規模の大気の大循環について学習する。	a: 大気のエネルギー収支，温室効果，放射冷却を理解し，知識を身に付けている。大気の大循環および，各地域での大気の動きを理解し，知識を身に付けている。 b: 太陽放射と地球放射の波長とエネルギーのグラフから，太陽放射と地球放射の違いを確認できる。 c: 大気のエネルギー収支に関心をもち，温室効果のはたらきについて意欲的に学習しようとしている。	・小テスト ・定期考査	・発問評価 ・ノート提出 ・定期考査	・授業態度
	宇宙と地球	太陽の誕生過程やエネルギー源について学習する。また、太陽系の惑星の特徴について学習し，その違いの要因を理解する。	a: 太陽の誕生過程やエネルギー源，現在の太陽について理解し，知識を身に付けている。また、太陽系の小惑星の特徴を理解し，知識を身に付けている。 b: 太陽系の形成時の位置や質量などの違いによって，地球型惑星と木星型惑星の内部構造が違うことを考察できる。それぞれの惑星の環境の違いから，その違いの要因について考察することができる。 c: 宇宙の探究の歴史に関心をもち，宇宙の構造やその誕生過程について意欲的に探究しようとしている。太陽系の惑星に関心をもち，惑星の環境を変化させる要因について意欲的に学習しようとしている。	・小テスト ・定期考査	・発問評価 ・ノート提出 ・定期考査	・授業態度
3学期	生物の変遷と地球境	さまざまな化石のでき方，示相化石と示準化石，相対年代と数値年代について学習する。また、先カンブリア時代から新生代第四紀までの地球と生物の変遷について学習する。	a: さまざまな化石のでき方，示相化石と示準化石，相対年代と数値年代の違いについて理解し，知識を身に付けている。先カンブリア時代から新生代第四紀までの，地球と生物の変遷を理解し，知識を身に付けている。 b: 地質時代カレンダーの作成を通して，地学的なタイムスケールを身に付けることができる。 c: 地質時代における生物界の移り変わりのようすに関心をもち，地球の生い立ちを意欲的に探究しようとしている。	・小テスト ・定期考査	・発問評価 ・ノート提出 ・定期考査	・授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度